

「東京成徳大学 臨床心理学研究」 執筆規定

1. 論文は刷り上がり16,000字以内、事例研究は20,000字以内を原則とする。
2. すべての投稿論文には日本語による要約をつける。但し原著には、英語の要約もつける。要約は、日本語で800字、英語で175語以内を原則とする。また、日本語および英語でそれぞれ5項目以内のKey wordsをつける。
3. 本誌の規格はB5判とし、横2段組（各段24文字50行）によるものとする。
4. 原稿作成にはワープロソフトを用い、図表および写真を含め印刷完成時のレイアウトをした上で電子ファイルを提出する。
5. 英字、数字は半角にする。印刷所では文字データのみ使用するので、文字サイズ、傍点、傍線などによる修飾、罫線などは変換できない。
6. 原稿の書き出しには、タイトル、所属、氏名を明記する。
7. 図版、写真、その他などで印刷上とくに費用を要するものは、執筆者の負担とする。
8. 原稿記述の詳細については、日本心理学会編「執筆・投稿の手びき」2005年改訂版（以下「投稿の手びき」という）の第1章「原稿の作り方」を参照すること。
9. 引用文献は論文の最後に、著者名のアルファベット順に一括してあげる。
10. 脚注は通し番号をつけ、本文中にそれに対する番号を付す。
11. 投稿論文は常用漢字、現代かなづかいを用い、簡潔、明瞭に記述する。
12. カタカナは、原則として日本語化した外国語を記述する時のみ用いる。
13. 本文中の外国語の使用はできるだけ避け、外国人名、適切な日本語のない術語、書物やテキスト名などにのみ用いる。
14. 数字は原則として算用数字を用いる。度量衡の単位については、「執筆の手びき」を参照すること。
15. 略語は一般に用いられているものに限る。ただし、必要な場合には、初出の時にその旨を明記する。
16. 表と図・写真は、Table 1, Figure 1のように通し番号をつける。
17. 表の題はその上部に、図・写真の題は下部に書く。説明文はいずれも下部に記す。表、図・写真の題、説明文、図表中の文字は英文にしてもよい。
18. 校正は、初稿を著者、再校以降は編集委員会で行う。

※「投稿申込書」「執筆用テンプレート」が本学大学院のホームページの「論文投稿を希望される方へ」にありますので、ご参照ください。不明な点は、編集委員会（Tel: 03-3927-4116, Fax: 03-3927-4118, E-mail: bulletin-gra@tsu.ac.jp）にお問い合わせください。

東京成徳大学大学院「心理学研究科優秀論文賞」規程

※平成27年2月5日研究科委員会承認

【目的】

1. 本研究科の大学院生が紀要『臨床心理学研究』に投稿した原著論文の中から最も優秀であると認められた論文一編についてその成果を表彰することを通して院生による積極的な投稿を支援し、更なる研究の発展を促すことを目的とする。

【名称】

2. 心理学研究科優秀論文賞とする。

【選考方法】

3. 選考の観点とは、1) 当該研究領域において独創的であり、画期的な視点を導入していること、2) 問題と目的に合致した結果の記述や分析方法を取っていること、3) 論文の論旨が明確であること、4) 論文の体裁が整っていること、5) 論文の不備が見られないこと、とする。
4. 担当教員全員が、上記の観点から、優秀論文に該

当すると考える論文として3編以内を推薦する。最多の推薦を得た論文を当該年度の優秀論文賞とする。最多同数の場合、原則としていずれも賞の対象とする。1編のみの選考結果において辞退のある場合は次点論文を対象とする。

5. 当該年度に特に優秀と認められる論文がない場合は選定しない場合もありうる。
6. 上記以外の選考方法については研究科委員会にて協議する。
7. 紀要編集の担当教員が事務をつとめる。

【表彰方法】

8. 学位授与式に表彰する。
9. 賞状ならびに記念品を授与する。

【その他】

10. 審査日程等は別途に定める。